



PCB含有廃棄物のPCB分析 「感圧紙の分析」

平成26年9月に環境省HPIにおいて、「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法(第2版)」が公表されました。

感圧紙PCB含有廃棄物に関する測定を開始しました。

PCB廃棄物は、平成24年にPCB特別措置法施行令が改正され、処理義務が平成39年3月末までに延期されました。また、平成28年5月には、期限内の処理を確実なものとするため、保管事業者に計画的処理完了期限※1より前の処分を義務付ける法改正が実施されました。

※1: 保管事業者がJESCOに処分委託を行う期限。期限は平成30～35年で地域や処理区分により異なります。

現在、トランス・コンデンサなどの絶縁油や廃塗膜に対しては処理が進んできたものの、感圧紙はこの数年の保管量がほぼ横ばいとなっており、処理が進んでいないことが環境省発表の「PCB特別措置法に基づくPCB廃棄物の保管等の届出の全国集計結果」からもわかります。

絶縁油や廃塗膜同様、感圧紙中のPCB分析についても早急な分析・処理が求められています。

☆当社では下記のような方法で定められているPCB分析に対応可能☆

- ・「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定の方法」(厚生省告示第192号)
- ・絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定マニュアル(第3版) → 絶縁油中のPCB含有量測定
- ・低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法(第2版) → ウエス、廃塗膜など固体物中PCB含有量測定

当社では、“最短2日納期”でPCB分析を実施しております。

当社の感圧紙PCB分析サービスの特長

- 高分解能GC-MSにより、他の有機化合物の影響を受けることなく高精度な定量分析をご提供いたします。
※感圧紙においては、絶縁油由来のPCBと有機顔料由来のPCBが混在します。
また、有機物による妨害物質が多いことから、高分解能GC-MSでの分析を推奨しています。
- **最短2日納期**で分析結果をご報告いたします。
- **マイクロカプセルを含む、多種多様な感圧紙**に対応いたします。
- 感圧紙については、性状、自治体、中間処理業者などにより試料区分が異なる場合があります。当社では、**どのような試料区分、分析方法でも対応**いたします。



高分解能GC-MS

感圧紙のPCB汚染について

感圧紙は、原紙層に筆圧を加えることでマイクロカプセルが破れ、顕色剤と反応して発色します。PCBはこのカプセル中に入っているため、筆圧の加わっている試料については、上・中・下用紙それぞれがPCBで汚染されている可能性があります。

表1に、分析事例を示しました。**PCB含有率に応じて仕分けすることにより、PCB含有感圧紙の処理コスト低減**が可能となります。

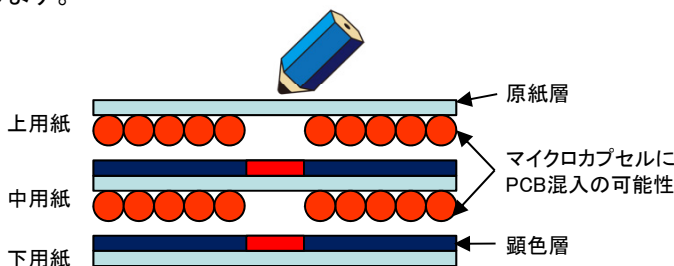


図1 感圧紙の構造例

表1 感圧紙のPCB分析事例

試料	PCB分析値 (mg/kg)
感圧紙 A	87
感圧紙 B	150
感圧紙 C	48



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。